

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

新2000年9月28日

4号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

沼津ホーム「しもだ」内

TEL045-562-3600

FAX045-562-5991

人と接することで人はできているんだよ ひとりで生きていくんじゃないんだよ

支える会のメンバーのほとんどが、重い身体障害と重い知的障害を併せ持つ、「重度重複障害者」です。「障害」ということに焦点を当てると、「重度重複障害者」と一括りにされてしまうことがあります。

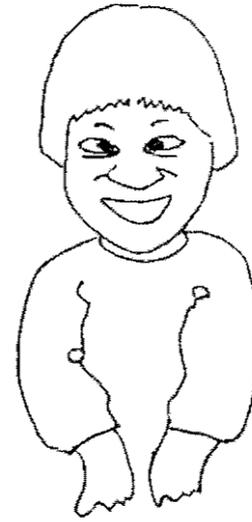
しかし、メンバーひとりひとり、誰も同じ人はいないのです。改めて言うことではないのですが…。時々そのことが忘れられているのではないかと思ってしまいます。コミュニケーションの取りにくい人は、確かにいます。でも、周りを見渡したとき、打ち解けやすい人、打ち解けにくい人、分かりやすい人、分かりにくい人、いろんな人がいると、思います。いろんな人の顔が浮かんできませんか。

人と人が接して、時間をたっぷりかけて、少しずつ分かりあっていく、見つけていくことで人はできているのではないのでしょうか。障害をもっている人の中には、そのために、たくさんの時間が必要な人もいます。

毎日の生活に追われていると、自分一人で頑張っているような錯覚に襲われてきます。けれども、ひとりで生きていく訳でもなく、いろんな人の中で、知らず知らずのうちに自分という人間が活かされて、できているんだなあとすると、急にいろんな人の顔が浮かんで、ありがたいなあと感じてしまいます。

今の世の中、すぐに結果を求められることが多すぎる気がします。少しスピードを落として、のんびり、ゆっくり、誰かと、何かと、関わってみませんか。

何か新しい発見があるかも…。メンバーに会いにきませんか。



せっちゃんこと高島勢津子さん

せっちゃんの人差し指がピンと立ち、「それは、ね…」と語り始めると勢津子ワールドが無限に広がっていく相撲、野球、駅伝などのスポーツに始まり、読書、俳句、お花、そして、神奈川の地層のこととにかく話題は尽きない
いつもは、控えめにみんなを見守り、まとめ役のせっちゃんも夢中になると時間も忘れ、特に勝負事には前へ前へと攻めていく、熱い一面も…
大の、松坂大輔(西武)ファンということも忘れてはいけない

勢津子さんが

「グループホームの生活へ向けて」

の思いを書いてくれました。

今、私はサンヴァリエで、とても楽しく

いろいろな事をしています。テレビゲームをしたり、おしゃべりをしたり、友達と本を読んだり、洗濯物をたたんだりしています。

今度、新しいグループホームで私は、お習字や生け花をしたいと思っています。

チャリティーコンサート通信

いよいよ10月9日のコンサートが迫ってきました。



お陰様で、チケットは予定より早く、完売となりました。

ことのほか暑さの厳しかったこの夏に、一枚一枚チケットを売ってくださった皆様は、心よりお礼申し上げます。

そして多くの皆様のご協力により準備が整えられようとしています。

このチャリティーコンサートは、「地域で生きる障害者を支える会」の初めての大きな事業です。一人一人の声を大切に今後活かしていけたらと思っております。

小さな頃にお別れしたまま会っていない懐かしい方々に来ていただけるメンバーも多く、当日は全員簡単なご挨拶をさせていただくことになりました。

ぜひ会場で、私たちの支えるメンバーに会ってください。

皆、生き生きと暮らしている様子をぜひ見たいと思います。

絵：福田次郎

ボ
ラ
ン
テ
ィ
ア
さ
ん
の
声

「調理ボラやってみない？」と誘われた時は私にできるかしらと少し不安な気持ちでした。

8月中旬までの3回位は前からやっていた方と2人で一緒に行き、それ以後は1人でを行っています。

毎回、持ってこられる献立表が気になるところで、ワンパターン化しつつある我が家のそれにはないような目先の変った調理もできるので楽しみでもあり、味付けには毎回ドキドキものです。

これからもできる範囲で、お手伝いできたらと思っています。

(三好 美和子)

新入会者紹介(職・職)

矢沢 儀子	岡本 美知子	川口 珠江
福島 喜美代	吉田 博子	加藤 秀子
松永 真奈美	佐藤 治彦	佐藤 恵美子
山本 邦子	三上 文子	鈴木 富子
出村 早苗		

会員入会状況(平成12年9月25日現在)

●会員 29名
●賛助会員(個人) 128名
●賛助会員(団体) 3団体

9月の報告

9月5日～8日 山田・高畠宿泊
11日 学習会(巖 藤さんの説明)
11日～14日 馬場・花岡宿泊
21日～23日 福田・大原宿泊
25日～28日 藤田・竹生宿泊
28日 グループホームメンバー・職員話し合い

この他にもチャリティーコンサートの実行委員会や準備等がありました。おかげさまでチケットも売り切れ、当日を待つばかりです。御協力ありがとうございました。

グループホームの4月設立に向けて宿泊体験は順調に進んでいます。他にも準備しなければならないことが、まだまだ、たくさんあります。スタッフ(職員)による準備会も始まる予定です。

また、メンバーが通っている「よつばホーム」は活動ホーム内のもう一つの作業所と一本化することが決まっております。そのことも気になる場所です。

いよいよ本格的に、具体的に動き出す時が来たようです。楽しみでもあり、不安でもあり、何とも複雑な心境です。

首を傾げ、にっこり微笑む
思わず、周りの人も釣られて、にっこり
さっちゃんの笑顔の魔力に、はまってしまう
いつごろからだろうか
年を取らなくなってしまうのは...
いつも誰かに恋しているからだろうか
童謡・唱歌から最近、はやりの曲まで
何でも歌えるからだろうか
「☺☺やりたい人」という言葉に、反射的に
手を挙げてしまうからだろうか
今もって謎であるが、1つだけ確かなことは
いつも誰かが側にいるってこと



さっちゃんこと花岡佐千江さん

活 動 報 告

3連泊になり3カ月、予定通り今月いっぱい3連泊は終了です。2連泊での時点ではなかった成果、問題点も見えてきました。

食欲が落ち気味だったメンバーが環境が変わったからなのか宿泊中はしっかりと食事をしたり、家以外で宿泊する、ほとんどの時に睡眠薬を使って眠っていたメンバーも3泊中2泊は薬を使用せずに眠ることができたりと、うれしいことがありました。

その反面、宿泊を楽しむにはしているのですが環境の変化のため宿泊中1度も便が出なかったり、どうしても疲れやストレスがたまったりといった問題点もありました。

10月からは4連泊になります。いろいろな事があるとは思いますが、とにかく楽しくやっていけたらと思います。

また、メンバー全員が4連泊ではなく、グループホーム1館目メンバーのみが4連泊でその人たちに合った「生活」をみつけていき、それ以外のメンバーに関しては2連泊でローテーションを早くし、レスパイト(休息)的な宿泊体験を重ねていくという形になります。

(菅原 賢)

支える会 10月の予定

S	M	T	W	T	F	S
1	2 福田 阿部 中村	3	4 馬場 富岡	5	6	7
8	9 チャリティーコンサート	10	11 福田 藤田 高畠	12	13	14
15	16	17 山田 竹生	18	19 阿部 大原 馬場	20 学習会	21
22	23 藤田 花岡	24	25	26	27	28
29	30 福田 藤田 高畠	31	1	2	3	4